

# 【事前準備のお願い】 スマホでAIを体験しよう！

～ 研修会 第3部 「AIワークショップ」に向けたGeminiアプリ設定ガイド～

本研修の第3部では、皆様のスマートフォンを使って実際にAI（人工知能）と対話するワークショップを行います。

スムーズにご参加いただくため、**研修当日までに**以下の手順で「Google Gemini（ジェミニ）」アプリのインストールとログインをお願いいたします。

## STEP 1 アプリをダウンロードする

スマートフォンのカメラで以下のQRコードを読み取り、無料アプリをダウンロードしてください。



### 🍏 iPhone の方

1. 左のQRコードを読み取る
2. App Storeが開きます
3. 「入手」をタップ



### 🤖 Android の方

1. 左のQRコードを読み取る
2. Playストアが開きます
3. 「インストール」をタップ

## STEP 2 Googleアカウントでログインする

1. アプリを開き、「ログイン」または「使ってみる」をタップします。
2. 普段お使いの **Googleアカウント**（@gmail.com等）と **パスワード** を入力してください。
3. 利用規約が表示されたら、一番下までスクロールして「同意する」をタップします。

📌 ※ご自身のアドレスとパスワードが分からない方は、必ず事前にご確認をお願いいたします。

## STEP 3 マイクの許可設定（超重要！）

当日のワークショップでは、基本的に「**音声入力**」で行う予定です。



1. アプリ画面下の「**マイクのマーク**（🎤）」をタップします。
2. 「マイクへのアクセスを求めています」というメッセージが出ます。
3. 必ず「**許可（アプリの使用のみ許可）**」を選んでください。

## ⚠️ 当日に向けた4つのお願い

- ✓ **1. パスワードの確認**：当日その場で「パスワードを忘れてログインできない」ケースが多発します。必ず事前にログインできるかお試しください。
- ✓ **2. アプリのアップデート**：すでにアプリをお持ちの方も、最新版にアップデートしておいてください。
- ✓ **3. 当日の通信回線について**：会場のWi-Fiは一斉接続するとパンクしやすいため、ワークショップ中はなるべくスマホ自体の回線（4G/5G）をご利用ください。
- ✓ **4. 音声入力について**：会場の広さや状況により一斉に声を出すのが難しい場合は、当日「キーボード入力」等に変更する指示を出します。まずはマイクを使える状態にしてお越してください。

# 生成AIとGoogle Workspaceで実現する 調査士業務の革新

明日から現場が変わる「AI新入社員」の育て方

令和8年3月13日 沖縄県土地家屋調査士会 業務研修会  
講師：中山 敬一

## AIは「超優秀な新入社員」

作業 (Task) はAIに任せ、専門家である私たちは「対話 (Dialogue)」と「判断」に集中しましょう。

### ▲ 脱・もったいない習慣

以下の習慣は、AI活用の最大の壁です。今日から見直しましょう。

- ✗ メールを毎回「新規作成」で送る (AIが文脈を読めません)
- ✗ 図面等を「ZIP圧縮」して送る (AIが中身を検索できません)
- ✗ CAD図面の「紙スキャン」 (貴重なデジタルデータが死にます)

## 魔法の指示 【4つの黄金ルール】

AIに「境界立会依頼書」を作らせる場合の例

1

### 役割 (Role)

「あなたはベテラン調査士です」

2

### 文脈 (Context)

「測量完了後の立会依頼です」

3

### 具体性 (Specific)

「宛名は佐藤様、来週の火曜～木曜で調整したい旨を入れて」

4

### 形式 (Format)

「丁寧な手紙形式で書いて」

※ 「あれやっという」の丸投げでは、空欄だらけの使えない定型文しか出ません。

## 📱 スマホで体験！AIワークショップ

キーボード入力は禁止！「音声入力」でAIに話しかけてみましょう。

### 🎤 ワーク①：役割で変わる回答

#### × 普通の質問

「筆界とは何ですか？」

#### ○ 応用プロンプト（沖縄版）

「あなたは土地家屋調査士です。境界立会いで、隣のおじいちゃんに『筆界』について沖縄弁（うちなーぐち）も交えて優しく説明してください。」

### 💡 ワーク②：アイデアの壁打ち

人に相談しにくい悩みも、AIに極端な役割を与えれば優秀な参謀になります。

お題（細野先生 実践事例）：

「あなたは『もったいない教の教祖様』です。今度事務所を移転するのですが、経費削減のアイデアを極限まで絞り出してください」

## 💻 PCで見る実務変革の「魔法」（実演）

### 【時短の極意】Gem（マクロ）の活用



何度も繰り返す命令文（プロンプト）は毎回手打ちせず、Geminiの「Gem機能」でマクロ化し、ワンクリックで呼び出します。



### デモ① アナログ図面の座標化 & CAD連携

手書きの数値が入ったスキャン図面（PDF）を読み込ませ、瞬時に座標を抽出・面積検算を実施。出力された表をコピーしてCADに貼り付けるだけです。



### デモ② 登記情報PDFの一覧表化・「土地調査票」作成

複数筆の登記情報（PDF）をAIに投げ込み、所有者や地積などを瞬時に一覧表として整理。さらにそのデータを用いて「土地調査票」を自動作成します。

**デモ③【NotebookLM】 報告書作成と「AIの育成」**

手元の資料だけを読むAI。過去の報告書を読み込ませて「自分専用にAIを育成」し、案件メモから高品質な93条等の所見案を作成させます。

**デモ④【沖縄特化】言葉の壁を越える多言語対応**

軍用地内の地主様への英語の案内文や、海外移住者からのポルトガル語の公証人文書など、AIが瞬時に翻訳し専門文書を作成します。

**デモ⑤ 行政文書の解説 & 見積シミュレーション**

難解な役所の文書の論点整理や、作成した見積書をAIに渡し「顧客目線で高いと感じる理由」を指摘させ、提案をブラッシュアップします。

## 絶対に守るべき掟と組織の未来

**🔒 機密情報の保護**

顧客情報や地番は、学習される「無料版AI」には絶対に入力しないでください。業務利用にはGoogle Workspace等のビジネス版が必須です。

**👁️ 最後の確認は「人間」**

AIはもっともらしい嘘（ハルシネーション）をつきます。内容を確認し、責任を持ってハンコを押すのはプロである皆様の仕事です。

**🏢 組織のDX（理事会・会務の省力化）**

AIを活用すれば、理事会の資料作成や議事録配布の負担が激減します。「紙の印刷・配布」から卒業し、役員の負担を大幅に減らしましょう。

本日実演した「魔法のプロンプト集」は、研修後にプレゼントします！